

教科:(国語) 科目:(文学国語) 単位数:2単位 対象:(第3学年)
 教科担当者:(1組:相川 ㊟)(2組:相川 ㊟)(3組:相川 ㊟)(4組:相川 ㊟)(5組:相川 ㊟)
 使用教科書:新文学国語(三省堂)
 使用教材:学習ノート(三省堂)・国語図説(啓隆社)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や的確に判断する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、効果的に表現する資質・能力を育成する。	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって自己を向上させ、自分の思いや考えを広げたり深めたりしていこうとする態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	授業オリエンテーション	・授業の進め方や評価について説明し、理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	随想『虹の雌雄』蜂飼耳	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・随想の特色を踏まえて、内容や構成、展開、描写に注意して読むことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	小説『月火水木金土日』川上弘美	・作品における登場人物の役割を考えることができる。 ・表現に即して主人公の心情を読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
5月	中間考査		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				1
	物語『竹取物語』	・古典作品を読み味わい、現代との共通点または相違点を考えることができる。 ・日本の伝統文化に関心を持つようとする意欲を育む。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	物語『竹取物語』	・『竹取物語』に描かれる、かぐや姫と翁の心情を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『ピクニックの準備』恩田陸	・本文中を通読し、感想を記述することができる。 ・第一段落を読み、登場人物の置かれた状況を把握する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	『ピクニックの準備』恩田陸	・登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	『ピクニックの準備』恩田陸	・登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				1
	俳句	オリジナルの短歌や俳句を作り、発表することができるようになる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	漢字の読み書き・意味	教科書の単元に出てくる、基本的な漢字の読み書き・重要語の意味についてプリントを課し、授業時に答え合わせをして学び、考査で出題して知識の定着を図る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
9月	『こころ』 夏目漱石	・夏目漱石について、人物、前期・後期三部作など主な作品について学び理解する。 ・「こころ」全編の構成と教科書本文に至るまでのあらすじを概括的につかむ。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『こころ』 夏目漱石	・第一段落を読み、登場人物の性格や置かれた状況をつかむ。登場人物の現状からその言動の意味を探る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『こころ』 夏目漱石	・第二段落を読み、登場人物の心の動きを追う。結婚を申し込む場面での、「私」の決断と実行に至る心理を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『こころ』 夏目漱石	・第二段落を読み、登場人物の心の動きを追う。結婚を申し込む場面での、「私」の決断と実行に至る心理を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				2
	『こころ』 夏目漱石	・第三段落を読み、登場人物の心の動きを追う。Kの自殺に至るまでの「私」の意識の志向と現実の人間関係との相関を押さえる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				2
	意見・主張型小論文を書く	・『こころ』を題材に、自分の考えを整理し、400字程度の意見文を書くことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	中間考査	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				1	
	意見・主張型小論文を書く	・『こころ』を題材に、自分の考えを整理し、400字程度の意見文を書くことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
11月	『旅する本』石田衣良	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	『星の王子さま』	・登場人物のものの見方・考え方を表現に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『星の王子さま』	・登場人物のものの見方・考え方を踏まえて、自分なりの見方や考え方を文章にまとめることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『星の王子さま』	・「かけがえないもの」はどういうものか考えることを通して、自らのものの見方や考え方に取り入れようとする。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	期末考査					1	
	漢字の読み書き・意味	教科書の単元に出てくる、基本的な漢字の読み書き・重要語の意味についてプリントを課し、授業時に答え合わせをして学び、考査で出題して知識の定着を図る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
1 月	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	3
	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	漢字の読み書き・意味	教科書の単元に出てくる、基本的な漢字の読み書き・重要語の意味についてプリントを課し、授業時に答え合わせをして学び、考査で出題して知識の定着を図る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
授業なし							

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
3月	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						